

サンノゼ新聞

発行者
三藤亜紀子

安全な都市、サンノゼ市

サンノゼ市について

サンノゼ市はシリコンバレーの中心都市である。他の大都市に比べて所得水準が高くアメリカ国内の人口二万人以上の都市を対象とした全米安全度調査第1である都市だ。人口は約百万人とされている。人口は全米で十番目の大都市である。

サンホセとも呼ばれている。地中海式農業で知られる肥沃なサンタクララ谷底平野で、1864年に鉄道が開通して以来、農産物の集散・加工地として栄え、特に干しぶどうでは世界一の産地となった。五〇年代に入ってからITが発達し、サンタクララ谷はシリコン・バレーと呼ばれる先端技術産業地帯となった。市の内外にはおよそ五〇〇の工場が建設され、人口も五〇年間の間に十倍近くに増加した。アメリカ合衆国の中でも最も成長の著しい都市の一つであり、住宅開発や都市改造が行われている。サンノゼ市はカリフォルニア州で最初のスペイン人による定住地である。

日本との時差は1.5時間である。

マーケットについて

左の写真のように、フルーツがたくさん盛られて売ってあった。これらは、道に簡易のお店として売っていた。フルーツ以外にも様々な国の料理が売ってあるところもあった。それぞれフルーツには試食ができるようなコーナーが設けられていた。フルーツ以外にも野菜が売っており、特に私が驚いたのは日本にはないジャガイモの種類などが売ってあったことだ。



フローズンヨーグルトについて

右の写真は、フローズンヨーグルトのお店へ行った時の店内の様子である。フローズンヨーグルトは、日本で例えるとソフトクリームのようなもので、多くの種類があり、抹茶の味もあった。全てセルフであり、バーを押すことでフローズンヨーグルトの量を決めることができる。トッピングも多くの種類があり、フルーツからナッツ、チョコなど多様だった。ここでは、量り売りで売ってあった。フローズンヨーグルトそれぞれの味を試食することも可能であり、小さな容器に少し入れて好みの味か確かめて、お気に入りのテイストにしていた。



スタンフォード大学について

ITで有名なスタンフォード大学にある芸術品である。スタンフォード大学はとても広く、左の写真を見て分かるように芸術品があるところもあれば、それらの奥にはスタンフォード大学の教会もある。スタンフォード大学の美術館もあった。このように多くのものがスタンフォード大学にはあった。また、イベントとして、音楽祭のようなものもあり、楽器の演奏や歌の披露などがあった。そのように、イベントや芸術品も多くあり、多くの生徒以外の人たちも観光で訪れていた。

